

## 知的障害者 個性伸び伸びと



東山で作品展 木工など200点

京都市東山青少年活動センター（東山区）で2019年度、アートの創作活動に取り組んだ知的障害者32人による「わたしたちの日曜日」展が同センターで開かれている。

市内の13〜30歳の障害者が月1回集う「東山アトスペース」事業の一環。会場には羽子板や絵馬をかたどった木工、大きな布を夜空に見立てて花火を描いた共同作品など、個性豊かな200点以上が並ぶ。

自己紹介代わりに制作した紙の服には自動

車や電車、アイドルなど、興味のある物事が伸び伸びと描かれている。中には、あらゆる作品に自分の名前や数字を繰り返し描く作者もあり、表現の多様さを実感させる。

展示は4月に開催予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大で延期されていた。同センターは「障害がある人の表現活動を身近に感じてほしい」としている。24日まで。午前11時〜午後7時。水曜休み。

（長谷川真一）

個性を伸び伸びと表現した作品が並ぶ会場（京都市東山区・市東山青少年活動センター）